



熊本県感染症情報(9月3日～9月9日)



KKT 熊本県民テレビ 医療サイト事務局

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 1	0	百日咳	↗ 1	0
RSウイルス感染症	↗ 82	41	ヘルパンギーナ	↘ 43	50
咽頭結膜熱	↗ 38	26	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↘ 21	23
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	↘ 23	24	急性出血性結膜炎	↘ 1	2
感染性胃腸炎	↗ 230	203	流行性角結膜炎 (はやり目)	↘ 19	29
水痘	↗ 35	17	細菌性髄膜炎	↘ 0	1
手足口病	↘ 17	20	無菌性髄膜炎	↘ 1	2
伝染性紅斑 (りんご病)	↘ 0	2	マイコプラズマ肺炎	↘ 5	7
突発性発しん	↗ 62	33	クラミジア肺炎	↘ 0	1

**報告が多い
感染症**

- 感染性胃腸炎
- RSウイルス感染症
- 突発性発しん

- 感染性胃腸炎は、報告数 230件(前週報告数 203件)と増加。地区別では、山鹿、有明、八代に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の 43件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- RSウイルス感染症は、報告数 82件(前週報告数 41件)と増加。地区別では、有明、水俣、人吉に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の 34件を最多に5歳以下からの報告です。
- 突発性発しんは、報告数 62件(前週報告数 33件)と増加。地区別では、山鹿、水俣、有明に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の 32件を最多に2歳以下からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性レンサ球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミ ジア肺 炎
熊本市保健所		39	22	12	51	20	4		21		6	6	1	19		1	4	
山鹿保健所					23		1		6				*	*				
菊池保健所		1	9	5	27	1	6		7		4	1						
阿蘇保健所					2								*	*			1	
御船保健所					2							2	*	*				
八代保健所		1		2	30	8	1		5		1	1						
水俣保健所		8	1	1	2	4			5		1		*	*				
人吉保健所		8		1	12	1			1	1	1		*	*				
有明保健所	1	24	1	1	51		1		10		3	2						
宇城保健所		1	2		19	1	4		3		7	5						
天草保健所			3	1	11				4		20	4						
計	1	82	38	23	230	35	17	0	62	1	43	21	1	19	0	1	5	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5 ヶ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳 以上	
インフルエンザ	1													1								
小児科定点年齢	合計	0~5 ヶ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	82	9	21	34	10	4	3	1						2								
咽頭結膜熱	38		6	3	7	7	3	5		2	1				2							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23		1		1		3	3	5	1	2	2	5									
感染性胃腸炎	230	8	31	43	22	25	24	10	8	5	7	11	18	6	12							
水痘	35		1	9	7	8	4	3		1	1	1										
手足口病	17	2	2	6	5		1				1											
伝染性紅斑	0																					
突発性発しん	62	2	25	32	3																	
百日咳	1			1																		
ヘルパンギーナ	43	1	8	11	4	6	5	7	1													
流行性耳下腺炎	21			2	4	1	4	2	3	1	1	3										
眼科定点年齢区分	合計	0~5 ヶ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	1															1						
流行性角結膜炎	19						1		2					3	4	4	3	1	1			
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1						1															
マイコプラズマ肺炎	5	1		2	2																	
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 咽頭結膜熱：菊池
- ヘルパンギーナ：天草
- 流行性角結膜炎：熊本

RSウイルス
感染症に
注意しましょう!



RSウイルス感染症は、冬季に流行する感染症で、例年、今頃の時期から報告数が増え始めます。今年は、先週から急激に報告が増え、例年よりも早い流行の立ち上がりとなっています。報告数も、先週から倍増しており過去5年間の同時期と比べ最多となっています。年齢別では、2歳以下が9割を占めています。全国的にも、同様の傾向が見られ、今後さらに注意が必要です。症状は一般的に、鼻水、咳、発熱などいわゆる「かぜ」のような症状がみられ、1~2週間で軽快します。2歳頃までに、ほぼ全ての人がかかりますが、初めてかかった場合、約3分の1に細気管支炎や肺炎などを起こします。特に生後6ヶ月以内の乳児や、早期産で出生した乳児、循環器疾患のある乳幼児では重症化しやすいので注意が必要です。また、一度感染しても再び感染することもあります。ウイルスは咳やくしゃみのしぶきから感染します。流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない、症状のある家族はマスクをする、外出後の手洗いをきちんと行うなど、乳幼児のいる家庭では、家族全員で予防しましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課